



3学期本格始動です。今学期も子どもたちが学びあう姿を楽しみにしています。

思い切って、3学期を0学期と言い換えてみたい

いよいよ3学期が始まりました。月並みな言葉で言うと、「1月は行く」「2月は逃げる」「3月は去る」と言われるほど、非常に足早に過ぎていくのが3学期。これまでの自分の経験からも、その実感はありますね。だからこそ、大切な学期ともいえるでしょう。

もちろん、3学期は今年度最終学期なので、その学年のまとめでもあります。ということは、逆に、次年度への足場架けの時でもあります。

だから、教育の世界では3学期を「次学年0学期」と言ったりします。

そう、もう来年度へ向けての準備が始まっているということです。

この準備、大切といわれる割には、意外と具体的に何をやるのかを考えないことが多いな、と自分自身を振り返ったときに思います。例えば、ジャンプをする。そこで、今回は具体的な方法について、ちょっと考えてみたいと思います。



左右にジャンプしているイラストがあります。この大ジャンプをするためには、絶対にしなければならないことがいくつもあります。思いつくままに、ちょっと書き出したいと思います。

- ① 膝を曲げる。
- ② 腕を前後に振る。
- ③ 「うわっ！」と声を出す。



本当は、もっとしなくちゃならないことがあるんですが、割と自然にやっちゃっていますよね。だから、意識して準備をする人は意外と少ない（というか、ジャンプに関しては陸上選手でない限りほとんどいないかな?）。だから、大事なのは、「自然とやらない」ということだと思います。そう、ジャンプするまでにやらなくちゃいけないことを、言葉にするということ。自然なことではないので、結構無理してやらないといけない。

変化が激しいといわれる今日^{こんにち}、その意識決定と実行のための思考方法として、「OODA ループ (ウーダーループ)」というものがあるそうです。OODAは、Observe (観察)・Orient (状況判断)・Decide (意思決定)・Act (実行) の頭文字4つで構成されています。観察から始まるこの思考方法は、ちょっと実行までの距離が遠いのですが、私はこの思考方法が自分に合っているなあと思うことがあります。つまり、0学期は「観察」することにより、状況把握をしよう、という作戦です。やみくもにやってみる自信がない(私みたいな)人は、この0学期に自分自身をじっくり見つめてみる、という活動を設定してみてもどうか。ちなみに、私は自分自身の書いたものを「読み返す」という活動を、この時期例年行っています。その年の、「押し」が意外と如実に見えてくる。ちなみのちなみで、私の今年の登場回数No.1は、「久能整」君でした。夏から急上昇していたので、あ〜あの映画に相当影響されたんだ、今年はどうな映画を見ようかな、と戦略を立てているところです。

